

「議会適正化検討特別委員会」報告

金子憲太郎
委員長

本委員会は、少子高齢化や財政状況など、本市がおかれた状況において、市民の負託に応え得るための議会はどうかあるべきかを検討するため、

7月5日の本会議において各党派から代表者9名を選出し設置されました。

そして、これまでに3回の委員会を開催し、県内各市の議員定数や政務活動費などについて調査を行い、協議・検討を行ってききましたので、その結果を報告します。

まず、主な意見として、議員定数については、現在、2名欠員の17名で活動してきていることや、前回の選挙からすると人口が3千人減っていることから17名にすべき。

さらに、定数が奇数の場合、採決において賛否同数になることが起きるため16名が良いのではと

いう意見もありました。が、あまり減らすと新しい人や若者が立候補しにくくなるとの意見もありました。

協議の結果、同規模の自治体と比較して、行政区が細長く範囲が広いことや、人口が本市より2千人少ない雲仙市が前回と同じ19名で、今年の10月に選挙を行ったこと、島原市も19名であることなどを勘案し、採決の結果、賛成多数で現行どおり19名とすることに決しました。

次に、政務活動費については、「活動費の額」「ホームページでの公表」「携帯電話やインターネット利用料金等の対象範囲」などについては、隣接の島原市や雲仙市より厳格に行っており、適正であると判断し、全会一致で全て現行どおりとすることに決しました。

- 〔委員長〕 金子憲太郎（ふるさとクラブ）
- 〔副委員長〕 松永忠次（経世会）
- 〔委員〕 近藤一宇（日本共産党南島原市議団）
- 〔委員〕 高木和恵（偏西風）
- 〔委員〕 隈部和久（向日葵）
- 〔委員〕 黒岩英雄（政研会）
- 〔委員〕 中村久幸（公明党）
- 〔委員〕 吉岡巖（自民党南創会）
- 〔委員〕 井上未喜（自民党明政会）

